

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立深谷はばたき特別支援学校	Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	特別支援教育の趣旨や特性を踏まえ、目指す学校像が設定されている。学校の置かれた状況や課題を的確に把握した上で、今年度見直しを行い、「児童生徒の障害特性や発達段階に応じたキャリア教育の推進」を掲げるなど具体的な学校像となっている。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	前年度と比べて整理され、「児童生徒一人一人が主体的に学べる指導・支援の充実」など学校の目指す方向が示されている。目指す学校像を踏まえ、学校の取り組むべき課題が明確かつ具体的に示されており、日々の教育活動の指針となっている。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・委員会等のシートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。学校全体と分掌・委員会等のシートとの連鎖がやや不十分であるので、項目欄を合わせるなど整理・工夫し、学校自己評価システムが更に機能するようにしていただきたい。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	課題に基づき、全教職員による太田ステージ評価の実施と活用など評価項目の達成に向けた具体的な方策が策定されている。評価指標については、方策の達成状況が確認しにくいものがあるので、取組指標と成果指標を組み合わせるなど分かりやすいものを設定することが望まれる。
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の課題を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、状況に即して的確にリーダーシップを発揮して、課題解決に向けた取組を推進している。目標の達成に向けて更に組織的に取り組むことが期待される。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	学校関係者の意見などを踏まえ、前年度の課題を次年度の目標・方策の設定に生かしている。保護者アンケートは、課題や次年度への改善策を明らかにするための必要なデータとなるように工夫を進め、更にPDCAサイクルにつなげるようにしていただきたい。
特記事項		